

From Sensory to Social ?

自閉スペクトラム症を持つ人の感覚の特徴と社会認知機能との関わり

日時：2020年7月5日14時～17時半

場所：Zoomミーティング
定員40名(事前申込制・無料)

共催：神経発達症研究推進機構
京都大学 ASD Project

企画趣旨

自閉スペクトラム症 (ASD) の症状として一般に知られているのは対人相互性の問題です。しかし、最早期での対人相互性の障害は検出しにくく、感覚や注意の問題が先行することが指摘されています。感覚の問題は対人相互作用の回避や様々な併存症を引き起こすだけでなく、社会的な情報の処理のされ方そのものに影響を与えているかもしれません。本シンポジウムでは、ASDの感覚処理とコミュニケーション機能について精力的に研究されている先生方に研究成果を報告していただき、最新の知見をアップデートしたいと考えています。続いて、ASDの感覚処理の特徴にモダリティを超えた共通性があるのか、感覚処理の特徴がASDの非言語および言語コミュニケーションの特徴と発達にどのように影響するかについて、議論したいと考えています。

スケジュール

- 13:30 演者打ち合わせ (参加者の入場は13:50)
- 14:00 企画説明 魚野翔太 (神経発達症研究推進機構、京都大学)
「ASDの感覚処理の特徴と社会認知機能」
- 14:15 講演 1 和田真 (国立障害者リハビリテーションセンター研究所)
「発達障害者の感覚の問題と身体認知特性」
- 15:00 講演 2 吉村優子 (金沢大学人間社会研究域学校教育系)
「自閉スペクトラム症児の聴覚処理と言語発達」
- 15:45 -----休憩-----
- 15:55 講演 3 熊崎博一 (国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所)
「自閉スペクトラム症の嗅覚特性に着目する意義」
- 16:40 総合討論 十一元三、稲富宏之、義村さや香、入江啓輔
(京都大学 ASD Project) および講演者・参加者

参加申し込み方法

下記メールアドレスに、「ASDシンポジウム」というタイトルで、①お名前、②ご所属、③Zoomミーティングの招待状を受け取るメールアドレスをご記入の上お申し込みください。定員に達し次第参加受付を締め切らせていただきます。お知らせいただいた個人情報は受付にのみ使用いたします。 Mail: contactform.opndr@gmail.com

注意：Zoomの使用方法についてのサポートは主催者側では致しかねます。本シンポジウムはASD Projectの評価のための資料として録画をさせていただきますのでご了承ください (録画内容の目的外の使用はいたしません)。